

ICT機器導入施設 恩方育成園

【施設概要】

運営法人: 社会福祉法人

東京都手をつなぐ育成会

住所: 東京都八王子市下恩方町2794-1

対象: 知的障害者

定員: 施設入所支援 80名

生活介護 80名

短期入所 6名



1 導入機器

分類	製品名	台数	導入の理由
見守り支援機器	眠りSCAN	80台	利用者の就寝時に心拍・呼吸・覚醒・離床などの睡眠状態がデータ化(可視化)され、タブレット端末及びPCで確認することができる。
	パノラマカメラセンサーシステム	9台	タブレット端末への通知により利用者の退出状況を把握することで、利用者の事故防止や職員の心理的負担を軽減することができる。
情報共有、業務支援のための通信機器等	ケアパレット	16台	現行の介護ソフトに機能を追加する形でインストールができ、タブレット端末で使用可能である。音声による記録入力機能もある。
	iPad mini	16台	見守り支援機器や介護ソフト等の閲覧性に優れる。携帯しやすいため場所を選ばず記録ができ、記録に要する時間を削減できる。
通信環境整備	WiFiアンテナ等設置工事	21台	園全体で無線LAN環境を整備することで、見守り支援機器や介護ソフト、タブレット端末を施設内のどこでも使用できる。

2 実施体制

- ・ プロジェクトチームの設置
- ・ 責任者:施設長、副施設長
- ・ リーダー:支援員
- ・ メンバー:支援員、看護師、事務員
- ・ ファシリテーター:サービス管理者、事務係長

3 課題整理

- ・ 高齢・重度化が深刻で、誤嚥からくる体調不良や睡眠の課題等の健康管理に苦慮していた。
- ・ 事故防止のためユニット単位で施設が必要となる時間もあった。
- ・ スタッフルームに戻り記録入力するため、記憶違いの入力や入力忘れなどが生じていた
- ・ 支援に関する情報の携行性の悪さ。応答、状況把握のしやすい連絡手段

4 導入効果

- ・ スタッフルームから夜間の利用者の睡眠状況・所在把握、呼吸・心拍確認が可能となった。
- ・ 離床時に訪室できるため、転倒防止につながった。
- ・ 退室の把握ができるようになり、施設解除につながった。
- ・ その場でのスムーズかつ正確な記録。
- ・ その場での記録・データ確認、チャットを使った情報共有。

5 課題と解決策

- ・ 障害特性等によりモニターに映し出された情報と、訪室した際の利用者の状態に差異が見られたため、メーカー等と連携し、設定や判断基準を見直した。
- ・ 退室すべてに反応するため、退室管理が必要な時間に限定して利用した。
- ・ iPadに蓄積したデータを外来受診に使うための準備を進める。